

事業所における自己評価の集計結果

事業所名：大田区立障がい者総合サポートセンター 放課後等デイサービス

公開日：令和8年2月20日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	6	1	・支援室とスタッフルームを分離したことで支援室が拡大し、こどものニーズに応えられるスペースが広がった。	
	2	7	0	・職員定数を満たした上で1名を加配配置し、個別対応が必要なこどものニーズに据えている。	
	3	6	1	・情報過多にならないよう配慮している。伝える情報を大きく、見やすく視覚化している。	・支援室の扉が施錠できずエレベーターホールに自由に入出りできるため、エレベーターの開閉ボタンを操作して遊んでしまうこどもがいる。その度に職員対応が必要となり、支援が中断される状況になっている。
	4	6	1	・感染症流行の有無にかかわらず、換気と室温管理を行っている。 ・ダイナミックな運動ができる作業療法室が空いている時は利用している。	・事業所が5階にあることに不安を感じている職員もいる。
	5	4	3		・クールダウンできる個別の部屋はないため、エレベーターホールのベンチや4階の相談室などで個別対応している。事業所内に確保できないか、検討していく。
業務改善	6	7	0	・日々の振り返りは、全職員で毎日実施している。	
	7	7	0		
	8	7	0		
	9	7	0		
	10	7	0	・研修案内は全て回覧している。	・午後や夜間開催の研修が多いため、療育や送迎時間と重なり参加が難しい。厳選して計画的に参加できるように調整する。
適切な支援の提供	11	6	1	・オンラインで公表すると共に、見学時や契約時にもリーフレットで説明している。	
	12	7	0	・こどものニーズは、見学時や初回利用時に聞き取っている。保護者のニーズは、契約時に聞き取っている。	
	13	7	0	・職員会議で検討している。	
	14	6	1	・職員会議で共有化している。	
	15	5	2		・利用しているこどもの実態に適したツールの検索を続けている。
	16	7	0		
	17	6	1	・各プログラム担当を決め、各自が責任を持ちながらチームで実践している。	
	18	7	0	・こどもの学年や特性に応じ、既存のプログラムにアレンジを加えている。こどものリクエストも可能な限り取り入れている。	・複数曜日利用している場合、同じプログラムを行うことがあるため、何らかの工夫が必要である。
	19	7	0	・特性に応じて個別と小集団を組み合わせている。集団が難しい場合でも、どこまでなら参加可能かを確認している。	
	20	7	0	・プログラムと進行方法、めあて、対応職員について、毎日打合せをしている。	

		認し、チームで連携して支援を行っているか。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・毎日の振り返りで、安全性に問題はなかったか、楽しめていたか、課題の代替案はあるか等について話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		・モニタリング報告書の作成が遅れているケースがある。進行表を作成し状況把握はしているが、遅れてしまうケースがある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・毎日選択活動の時間があり、カードを選んで自己選択する機会を設けている。カードにない活動をした時は、希望の伝え方を教えている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・相談支援事業所が別フロアに併設されているため、必要な情報交換を随時行っている。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・診療所が別フロアに併設されているため、医師の所見が必要なケースについては相談している。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	0	・こどもと保護者の同意を得た上で、学校訪問を実施している。必要に応じて学級担任や特別支援教育担当教諭との情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	・やり取りが必要なケースについては、情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・他の放課後等デイサービス等に移行する場合、やり取りが必要なケースについては、情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		・スーパーバイズを受ける必要はあると感じているが、方法が確立していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・近隣の公園で遊ぶ時は、地域のこどもと一緒に鬼ごっこをしたりしている。 ・駄菓子屋体験企画を地域公開で実施し、地域のこどもも参加していた。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	・大田区児童発達支援地域ネットワーク会議に事務局として参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。	7	0	・連絡帳に記載すると共に、お迎え時に口頭でも伝えている。送迎の場合も手短かに伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・さぼーとびあ主催の区民向け講演会(年2回)のチラシを配布している。必要なケースについては、ペアレントトレーニングのご案内を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明している。	
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・契約時に時間をかけて保護者の意向をうかがっている。こどもの意思は初回利用時の他、随時プログラムの過程で意思の表明を促している。	・個別支援計画はこどものための計画であり、内容をこども自身が把握していることが望ましい。いかにわかりやすく伝えられるか、検討していきたい。
	38	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・年3回の定期面談の他、随時の電話相談で丁寧なやり取りを心がけている。	
	40	保護者会を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・年2回開催している。利用終了後の案内、活動のスライドショー、茶話会等を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することやホームページを活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発	6	1		・月1回広報誌を発行して、活動の様子を視覚的に伝えていくよう準備している。

		信しているか。				
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・毎年11/3に開催される「新井宿地区 福祉と医療と文化のまちのスペシャルデー」に地域住民を招いている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・さぼーとぴあ全館での防災訓練(年2回)に子どもも参加し、避難経路を確認している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時間き取り用の「家庭生活状況シート」にアレルギーや内服の項目を設けて確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・調理活動や外食体験を行う際は、事前のアレルギー情報を確認した上で、保護者に最終確認している。 ・食物アレルギー緊急対応マニュアルを常設している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・安全対策係が月1回集計し、全体会議で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了承を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	7	0		